

富山県の高校生の皆さんへ

全国高校総体が中止と決定され、当事者である高校生の皆さんは様々な思いを抱いていることと察します。それぞれの目標をもって挑戦しようとした大会がなくなり、やりきれない思いや失望感を抱くことは当然のことだと思います。

ただ、もし高校生だった時の私に会えるとするならば、少し大人になった今の私から伝えたいことがあります。それは「今がとても大切」だということです。過去も未来も操作することはできませんが「今」を変えてゆくことはできます。

スポーツで頂点を目指す過程においても、また人生においても沢山の分岐点が訪れます。それは夢を実現できるかどうかの分かれ目でもあるでしょう。今回のことはその大きな分岐点のひとつだと思います。自分ではコントロールできないことにいつまでも思い悩むのか、あるいはバネにしてゆくのか。きっと後者がチャンスを掴んでゆく人になるのだと思います。

酷ですが誰もが夢を叶えられる世界ではないのが現実。ただ幸いなことに、分岐点においてどの道に進むのかは常に自分自身で選択することができます。今落ち込んでいる時間は、将来あなたが取り戻したくてしょうがない時間かもしれません。

また、私は競技と日常生活は切っても切り離すことができないと思っています。競技が思う存分できないこの時間に、何を考え、どんな工夫をするのか。それが後に競技に戻ったときに必ず生きるはずです。

最後に、世界中で沢山の人の命が奪われている中で、何を感じていますか。現在、私たちが健康に過ごしていることは当たり前なことではありません。私もそうですが出来なくなってしまったものばかりを見るのではなく、日々当たり前すぎて見えなくなっていることを見つけ出す機会にもしてみてください。それがきっと、競技にも深みをもたらしてくれます。

近い将来、皆さんが元気に活躍する姿を心から楽しみにしています。

田知本遥